# 議会だより

白山市

第28号

2012

平成24年5月

目　次


「開かれた議会」を目指して …… 2
議員定数を削減 …… 3
平成24年3月定例会概要 …… 3
一般質問 …… 6
特別委員会活動報告 …… 13
常任委員会レポート …… 14
市民の声・編集後記 …… 16


「古　木」　●写真提供：中井　正宏さん（白山市上二口町・白山市松任美術協会会員）　撮影地：大嵐山（白峰）

# 「開かれた議会」を目指して

## 議長・副議長　決意を語る

藤田政樹議長、寺越和洋副議長から辞職願が出され、議長・副議長選挙が行われました。議長に前多喜良議員、副議長に本屋彌壽夫議員を選出しました。

前多喜良 議長

**白山市が当面する課題に議会はどのような役割を果たすべきと考えますか。**

**議長**　合併特例債の発行期限があと3年となりました。また、平成32年度には実質交付税が約32億円減額となることから、二元代表制の一翼を担う議会は、今後さらに議会改革を進めながら、市民の負託に応える行財政改革に取り組むことが大切です。

また、公共施設の統廃合についても、地域の思いを受け止めながら議論していくことが重要であると思います。

**議会基本条例に「市民に開かれた議会」がうたわれていますが、市民とどのように対話を進めようと思っていますか。**

**議長**　議会改革の大きな柱である今回の大幅な議員定数削減により、市民は地域の声が市政に届かなくなるのではないかとの懸念を抱いておられると思います。これから「市民に開かれた議会」を目指す上で、議員自らが各地域へ出向いて市民と懇談し、その声や思いを真摯に受け止めることが大切であり、今後の課題であると思います。

**議員の改選まであと1年となりましたが、これまで取り組んできた議会改革をさらにどのように進めればよいと考えていますか。**

**副議長**　3月定例会で、議員定数がこれまでの28人から7人減の21人となりました。しかし、議会改革はそれだけではなく、通年議会の導入や議員環境の整備に向けて、今後検討していく必要があります。通年議会は、単に年間を通して議会を開いていけばよいというものではなく、中身に魂を入れなければ意味がありません。そのためには、議会の中で慎重に議論し、早急に取り組む必要があると思います。また、議員環境の整備については、将来を見据えながら、次代を担う若者が出馬できる魅力ある議会にすることが大切です。今後引き続き、議論を重ね議会改革を進めていきたいと思います。

本屋彌壽夫 副議長

### 6月定例会の日程

平成24年第2回（6月）市議会定例会の日程は次のとおりです。

**6月　7日（木）本会議（提案説明）**
**6月14日（木）本会議（一般質問）**
**6月15日（金）本会議（一般質問）**
**6月18日（月）本会議（一般質問予備日）**
**6月19日（火）常任委員会**
**6月20日（水）常任委員会**
**6月21日（木）特別委員会**
**6月25日（月）本会議（最終日）**

# 議員定数を削減、次回選挙から21人に

吉田郁夫議員（前議会運営委員会委員長）は、議会議案として「同規模の自治体の議員数、議員1人当たりの人口、また、常任委員会についても、これまでの機能を維持しつつ合理化を図ることなど、総合的に勘案した結果」とし、現在の議員定数28人を次回一般選挙から7人減員し、21人とする条例案を提出しました。これに対し、宮岸美苗、古河尚訓両議員から質疑がなされ、以下の2議員から討論がありました。

**反対討論（趣旨）**

（発言者・宮岸美苗）

あまりに極端な削減であり、反対の意思を表明する。白山市議会は開かれた議会を目指しつつ、議会改革に努力してきた。その議会改革の一環として定数議論を行ってきたが、定数削減＝改革とする議論の傾向には違和感を持ってきた。議会が市民の代表機関としての役割を求められている以上、定数はせめて現状を維持して、従来にも増して十分な議会審議をしていく必要がある。加えて、この条例案は議員を志す若者や女性が登場しにくい環境をつくり、他の自治体への定数削減競争を加速させるものだ。

**賛成討論（趣旨）**

（発言者・石田正昭）

これまで議会改革について、市民アンケートをはじめ、市民の方々に意見を伺ってきた。このような中で、白山市議会の将来を見据え、また、行財政改革の推進等を総合的に考えると、議員定数の削減は避けて通れない時期にきている。議員定数が削減されると、少数意見や人口の少ない地域の意見が市政に届きにくくなるとの懸念もあるが、今後、議員は専業職的認識で活動すること、通年議会の実施、市全域での活動を行うことで解消できる。今回の提案は議会基本条例の理念を実現するものだ。

## 新しい議会運営委員会

【委員長】藤田　政樹　【副委員長】村本　一則
【委　員】安田　竹司　宮中　郁恵　寺越　和洋
吉田　郁夫　竹田　伸弘

# 3月定例会概要

平成24年第1回市議会定例会
3月1日（木）～23日（金）

**今定例会に執行部より提出された予算案14件、追加議案を含め補正予算案8件、条例案26件、事件処分案11件については、すべて可決し、追加上程された人事案4件についても、すべて同意または答申しました。また、請願1件を採択、議員提出の議会議案5件についてもすべて可決しました。**

## 小中学校の増改築に重点予算、合併後最大の予算に

**■予算案**　14件

**□歳入**

一般財源のうち、市税では法人・個人市民税等を合わせて152億5521万円とほぼ前年度並みを確保し、交付税は国全体では前年度比0・5％増ですが、本市は1・5％増の122億3500万円が計上されています。また、小中学校の増改築に大きな予算配分がなされたことから、市債が26・8％増となり、一般会計は514億6800万円と合併後最大となりました。

**□歳出**

本年度予算の特徴として、教育関係が前年度比55・3％増と大きく伸びています。主なものとして、朝日・松南・明光の各小学校、美川中学校の改築事業に約44億円のほか、松陽小学校、松任・北星・光野の各中学校の大規模改造事業にも予算計上されています。ほかに本市主催の2つの文学賞を統合した「白山ふるさと文学賞」に約550万円が計上されています。福祉関係ではPETがん検診の助成対象年齢の拡大と認知症ドックとのセット受診を推進するために120万円、倉光地内に建設予定の（仮称）中央福祉館の実施設計に約4000万円が計上されました。また、今年度から観光推進部に移管したジオパーク推進事業に約2250万円、交通関係では北陸鉄道石川線・浅野川線の老朽化施設整備事業の支援として、沿線市町と連携し約3000万円が計上されています。

これらの予算案は、所管の常任委員会に付託後、22日の本会議で採決の結果、2件は賛成多数、その他は全員賛成で可決しました。

助成対象が拡大されたPET検診

■補正予算案……8件

一般会計は、約７６００万円を減額する23年度補正予算案が提出されました。このうち、北陸新幹線建設に伴う市道の工期見直しのため、約５億４１００万円が減額されました。そのほか、今冬の大雪のため、除雪対策費に２億９００万円が計上されましたが、それ以降の除排雪のため、９８００万円が追加上程されました。これにより、３月補正額は約２２００万円となりました。その他、国民健康保険、工業団地造成事業など６会計で約48億５７００万円増額補正となりました。以上、採決の結果、すべて全員賛成で可決しました。

## 介護保険料、月額（基準額）１０８０円の増額に

■条例案……26件

「白山市安全で安心なまちづくり推進条例」は、災害・犯罪・事故等を未然に防止し、安全に安心して暮らすことができるまちづくりについて、基本理念や市、市民等の責務、施策の基本事項等を定めたものであり、「白山市暴力団排除条例」は、地域社会での暴力団による不当な影響の排除を推進し、市民の安全で平穏な生活の確保を図ろうとするものです。ほかに、市長等の親族が経営する企業との公共事業等の契約の自粛について、対象親族の範囲を拡大する「白山市職員倫理条例の一部を改正する条例」なども提案されました。

採決の結果、第５期介護保険事業計画により新保険料を規定し、所得段階を細分化するという「白山市介護保険条例の一部を改正する条例」を含む５件については賛成多数、その他は全員賛成で可決しました。

■事件処分案……11件

「白山野々市広域事務組合規約の変更」は、市へ権限移譲されたガス事業法等にかかわる事務について、当該一部事務組合に共同処理させるための規約変更を求めるものです。その他、白峰スキー競技場など４件の指定管理者の指定について議決を求める議案等が提出され、採決の結果、すべて全員賛成で可決しました。

■請願……5件

「志賀原子力発電所の運転再開に慎重な対応を求める意見書の提出を求める請願」は全員賛成で採択されました。「公的年金にかかわる意見書提出を求める請願」は継続審査となり、その他３件は不採択となりました。

○ここまでの議案に対する討論

反対討論（趣旨）

（発言者・古河尚訓）

「少人数学級推進事業」は、国や県が動きを見せない中、２００２年に旧松任市が小学校１年生の学級編成を30人以下にするとして始め、合併時に２年生まで対象を拡大したことで、市民からも支持を受け、本市の看板教育施策となった。しかし、今提案は、いきなり２年生対象の予算計上を打ち切り、市民への説明責任を果たさないばかりか、協働で進めてきた議会をも軽視するものであり、議案第１号「平成24年度白山市一般会計予算」には反対する。

賛成討論（趣旨）

（発言者・小川義昭）

平成24年度の地方財政計画では、東日本大震災復旧・復興関係分を除くと総額的には減額となっている。その中で本市では、市税が前年度同額程度見込まれ、さらに合併特例債の有効活用などにより、将来のまちづくりのため、積極的な社会資本整備を行っている。歳出では、小中学校の増改築に着手し、教育施設の耐震化や環境の向上が図られるなど、今後、市民と行政が一体となったまちづくりが推進されることを確信し、賛成討論とする。

なお、宮岸美苗議員も議案第１号のほか、一部の条例案について反対、一部の請願については賛成の立場で討論を行っています。

## 東日本大震災関連の「志賀原発運転再開」や「災害廃棄物の処理」など意見書４本を可決

■議会議案……5件

○白山市議会議員定数条例について（前述）

【意見書】

○志賀原子力発電所の運転再開に関する意見書

（請願採択により　提出者・古河尚訓）

北陸電力は津波と電源喪失対策を講じ、ストレステストを終了した段階での運転再開を求めている。しかし、昨年12月には、地震の揺れによる損傷の可能性を原子力安全・保安院も認めている。国及び県においては、政府の事故調査・検証

委員会等の報告書が提出されるまで再稼働を認めず、再稼働に当たっては、周辺自治体の住民等の意思を尊重するよう強く求める。

**○こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書**（提出者・宮中郁恵）

世界保健機関（WHO）の提唱する指標により、先進国において命と生活に最も影響するのは精神疾患であることが明らかになった。この精神疾患は、がん・循環器疾患と合わせて三大疾患の一つと言える。国においては、すべての国民を対象とし、心の健康についての総合的で長期的な政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法」を制定するよう強く求める。

**○基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書**（提出者・清水芳文）

国が地方自治体の仕事を細かく縛る「義務付け・枠付け」の見直し等の地域主権一括法が、昨年の通常国会で成立し、第3次見直しも本年の通常国会に提出される見通しとなっている。国においては、基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を図るためにも、必要な財源措置を行い、移譲の時期や具体的な財源措置など必要な事項について十分な情報提供を行うよう強く求める。

**○東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理に関する意見書**（提出者・西川寿夫）

被災地での膨大な災害廃棄物を迅速に処理すること等が早期復旧、復興に向けた重要課題となっている。しかし、災害廃棄物の中には原発事故による放射性物質に汚染されたものも含まれており、その処理の安全性について多くの住民から不安が示されている。国においては、災害廃棄物等の安全基準や取り扱い指針を策定し、国民に適切な情報提供を行うなど、被災地での安全かつ迅速な処理体制を確立するよう強く求める。

採決の結果、「志賀原子力発電所」と「こころの健康」の意見書は全員賛成、その他については、すべて賛成多数で可決しました。

積み上げられた災害廃棄物（石巻市）

## ■人事案 …… 4件

**○教育委員会委員の任命について**
川上隆夫さん（湊町）　水洞満子さん（深瀬新町）　賛成多数で同意

**○公平委員会委員の選任について**
小堀幸穂さん（鶴来大国町）　全員賛成で同意

**○人権擁護委員候補者の推薦について**
山口正雄さん（美川末広町）　全員賛成で答申

**○監査委員の選任について**
西川寿夫さん（倉光西二丁目）　全員賛成で同意

採決結果一覧（賛成反対が分かれたもの）

○＝賛成、×＝反対
◎会派名
清流＝清流会
一創＝一創会
市民＝市民クラブ
市政＝市政会
創誠＝創誠会

| 氏名 | 会派名 | H24一般会計予算 | H24介護保険特別会計予算 | 白山市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について | 白山市心身障害児福祉金支給条例の一部を改正する条例について | 白山市保健センター条例の一部を改正する条例について | 白山市健康増進センター条例の一部を改正する条例について | 白山市介護保険条例の一部を改正する条例について | 消費税増税に反対する請願書 | 「白山市が県の地方税滞納整理機構に参加しない」ことの議会決議を求める請願書 | 教育委員会委員の任命について | 白山市議会議員定数条例について | 東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理に関する意見書 | 基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 永井　徹史 | 市民 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 棄権 | ○ | ○ |
| 石地　宜一 | 一創 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 森本　　茂 | 市政 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小川　義昭 | 市民 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 古河　尚訓 | | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ |
| 安田　竹司 | 創誠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 本屋彌壽夫 | 創誠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 北嶋　章光 | 清流 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 宮中　郁恵 | 市民 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ |
| 村本　一則 | 市政 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 宮岸　美苗 | | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| 岡本　克行 | 市政 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 杉本　典昭 | 創誠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 石田　正昭 | 市政 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小島　文治 | 市政 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 寺越　和洋 | 創誠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 吉田　郁夫 | 清流 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 竹田　伸弘 | 市民 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 清水　芳文 | 市民 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ |
| 前多　喜良 | 市政 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 北村　　登 | 市民 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ |
| 北川　謙一 | 清流 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 岡田　俊吾 | 創誠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 西川　寿夫 | 一創 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 中西　恵造 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 徳田　　巌 | 市民 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

＊前議長（藤田政樹）は採決に加わりません。

# 一般質問 「そこがききたい」市政を問う

3月定例会の一般質問は、12日、13日の2日間にわたり行われました。

## 12日の質問議員


**西川 寿夫 議員** …… 6ページ
公民連携による空き公共施設の利活用を
**森本　茂 議員** …… 7ページ
東日本大震災を教訓とした新年度事業の取り組みは
**宮中 郁恵 議員** …… 7ページ
鶴来地域に病院併設の病児保育施設を
**中西 恵造 議員** …… 8ページ
白山噴火と手取川ダム決壊に防災対策を
**竹田 伸弘 議員** …… 8ページ
海岸からの距離と海抜表示を
**永井 徹史 議員** …… 9ページ
「白山ろく地域活性化計画」が完成、今後の支援策は
**寺越 和洋 議員** …… 9ページ
企業誘致に対する市長のトップセールスの考え方は
**古河 尚訓 議員** …… 10ページ
少人数教育の2年生事業廃止、なぜ承認したのか


## 13日の質問議員


**村本 一則 議員** …… 10ページ
「地域づくり交付金制度」の導入を
**清水 芳文 議員** …… 11ページ
平成25年度に全市的な防災訓練を
**小川 義昭 議員** …… 11ページ
本市独自の老老介護支援策を
**宮岸 美苗 議員** …… 12ページ
小2の少人数学級廃止は市長の提案説明にはないが
**前多 喜良 議員** …… 12ページ
各地域の観光資源を生かした物語を


**みなさまの傍聴をお待ちしています**

※本会議の傍聴は、当日、市役所7階で受け付けています。
一般質問など本会議の詳しい内容は、白山市ホームページでご覧になることができます。

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

西川 寿夫 議員

## Q 公民連携による空き公共施設の利活用を

## A 新たに市有財産対策室を設置し調整を図りたい

**質問** 多くの合併市町村では、空き施設の活用方法が課題となっている。先進事例を研究し、計画的に民間活力を利用する取り組みをしてはどうか。

**市長** 統廃合後の空き施設や土地の利活用が課題となっている。

新年度、新たに管財課内に市有財産対策室を設置し、行政改革室や他の部・課・支所とも連携しながら、各部署が所管する施設、土地の利活用及び処分等の実施調整を図っていきたい。

### 松任総合運動公園フェスティバルローンの整備

**質問** 松任総合運動公園に、フェスティバルローンと呼ばれる0・7haの広場がある。この広場を大型遊具、幼児遊具などをそろえた「わんぱく広場」にしてはどうか。

**建設部長** フェスティバルローンは、松任総合運動公園の中心的な施設である。広い立体空間を有し、多目的利用が可能な芝生広場であり、今後ともこのような機能を維持し、適正な管理に努めていきたい。また、隣接地にある老朽化で使用できない木製遊具の更新作業を急いでおり、らせん滑り台、トンネルスライダーなどの複合遊具を設置する。

松任総合運動公園フェスティバルローン

跡地の利活用が検討される現松南小学校

森本　茂 議員

## Q 東日本大震災を教訓とした新年度事業の取り組みは

## A 34名の防災士を新たに養成する

**質問** 東日本大震災の教訓として、さまざまな活動の展開が見られるが、新年度事業の取り組みは。

**市長** 自主防災組織のリーダーとして34名の防災士を養成することとしており、これまでの94名と合わせ128名が資格を取得することになる。これにより目標としている3町内会当たり1名の防災士を確保できることになる。

また、社会福祉協議会と協力し、災害ボランティアセンターの運営マニュアル作成・設置訓練を実施するなど、防災力の向上を図りたい。

蝶屋地区での防災訓練

**質問** 福祉部門の今年度事業として、災害発生時に高齢者など要援護者の生命を守るため、地図情報に氏名や住所などをデータベース化した災害時要援護者情報システムの導入に取り組んでおり、今年度中の完成を目指している。

このシステム完成後の活用方策及び関係機関との連携等について、どのように進めるのか。

**健康福祉部長** 災害時や緊急時において安否確認や関係機関への連絡など、これまで以上に迅速かつ適切な対応が可能になる。システム導入後は、日常の見守り活動のほか、災害時要援護者の避難支援計画策定後の個別避難プランに役立てたい。

また、要援護者の情報については、本人の理解と同意を得る中で、町内会や自主防災組織等、平常時から情報共有が図れないか検討を進めたい。

宮中 郁恵 議員

## Q 鶴来地域に病院併設の病児保育施設を

## A 保護者にニーズ調査を実施しできる限り支援したい

**質問** 病児保育施設は、公立松任石川中央病院の敷地内の少し離れた場所にある。ニーズは高いが松任地域に1カ所のみであり、金沢市には病院や小児科医院に併設した施設が7カ所もある。南部地域のニーズに応えられるよう、鶴来地域にも施設の整備を。

**健康福祉部長** 開所後1年半で延べ1282人、1日平均3・5人の利用、季節的には6人の定員を超える申し込みがあった。病院が施設整備・運営を行う場合、病院が主体的に国等の補助制度を活用し、整備することになるため、市としてもできる限り支援したい。

また、鶴来地域の保護者にニーズ調査を行い、医療機関に働きかけ、お願いしていきたい。

### ジェネリック医薬品「差額通知サービス」で医療費削減を

**質問** 国は、H24年度までに数量シェア30%の目標を掲げたが、22・7%にとどまっている。健康保険組合連合会の調査で、差額通知の取り組みの普及が明らかになり、「差額通知サービス」により、5万人以上の組合で約5800万円の医療費節減の効果があった。加賀市は2月からの導入により、年間8000万円の削減効果を見込んでいる。本市も実施してはどうか。

**月額1000万円程度の医療費削減が見込まれる**

**市長** H22年度「希望カード」の提示により国保は25・6%となったが、国の目標には到達していない。今後実施に向けて、医師会と協議を進めたい。

### 市内中小企業を対象にBCP策定の相談会を

**質問** 東日本大震災により被害を受けた企業の中には、※BCPを策定していたことで早期復旧を果たした事例がある一方、多くの企業が事業停止や縮小を余儀なくされた。ノウハウがない、策定方法が分からないとの理由で未策定という帝国データバンクの調査結果から見ても、行政の策定支援が急務である。

**市長** 企業がより丁寧で分かりやすい講座や説明会に参加できるような環境づくりに努めたい。

※BCP（事業継続計画）
企業が自然災害、大火災、テロ攻撃等の緊急事態に備え、平常時の活動や事業継続の方法、手段等を取り決めておく計画。

中西 恵造 議員

## Q 白山噴火と手取川ダム決壊に防災対策を

## A 国にシミュレーション、データ作成を要望する

**質問** 金大の平松准教授は、本市でも震度6弱の大地震が起きる可能性があるため、普段から噴火対策を取るべき時期にきているとし、また、石川県は全国的にも対策が遅れていると指摘しているが、本市はどうなのか。

被害を受けるのは私たち市民であり、いかなる事態が発生しても、最小限の被害で済むような防災・減災意識と、それに向かう行動力が大切である。白山が噴火し、雪が解けて大量の水がダムを襲い、連動して地震が発生、ダムが決壊するなどの想定を考え合わせたとき、本市流域の洪水量・流速・最大水位・流水方向等はどのように考えられるか。

今の防災計画では、1次避難場所に集合、2次避難施設へ移動となっているが時間的余裕はあるのか。

**市長** 平松准教授らが主催する「北陸自然災害懇話会白山火山部会」に担当職員を参加させ、情報収集などに取り組んでいる。また昨年、国の防災基本計画が見直され、「火山防災協議会」の位置付けが明確になった。今後の議論を踏まえ、必要な検討を行いたい。

**市民生活部長** 避難マニュアルを作成するなど、防災減災体制づくりに努めたい。

### ふるさと納税

**質問** 都会で暮らす方々とふるさとを結ぶ「ふるさと納税」の納税額が都市交流事業費を超えるような仕掛けを求めたい。

**企画財政部長** 白山観光特使と連携し、さらに促進につなげていきたい。

### 「命の水」を大切に

**質問** 白山手取川ジオパークのテーマは「水の旅」。平成の名水白山美川伏流水群の美川地域は、井戸の揚水量を制限し、大切な水を保護してきた。このおいしい水を発信している市内企業を支援し、相乗効果をもたらす仕掛けを講じては。

**市長** 「やすまる銘水」など大切な財産でもある「命の水」を積極的に宣伝、活用したい。飲料水は市の各種会議で使用するなど、さまざまな場でPRを図りたい。

噴火で白山の雪が
一度に解けたら怖い

竹田 伸弘 議員

## Q 海岸からの距離と海抜表示を

## A 早急に避難場所に表示したい

**質問** 湘南厚木病院の認知症ドック（PIB-PET）を視察研修してきた。検査料金は32万円+消費税だが、全国からテレビコマーシャル、インターネット、口コミにより検査に来られるとのこと。日本は外国に比べ3年から5年遅れている。すべての人が検査すれば、認知症患者が半減するとの説明を受けた。

今後、本市において8年から9年で介護保険の負担が倍増する状況や、家族から「認知症患者の受け入れ施設をもっと充実してほしい」という声に応えるための対策にも、認知症PIB-PET検査は有効と考える。公立病院は民間のように宣伝ができない。市の広報を使って広く市民へ知らせるなど、PETがん検診・認知症PET検診を多くの方に受けていただくための取り組みを求める。

**市長** 老人会、介護予防講座、まちかど市民講座などを通じ、認知症PET検診について説明を行い、口コミも利用して広く市民へ周知啓発し、多くの方の利用につなげていきたい。

**質問** 東日本大震災から1年、大きな被害をもたらした教訓で災害対策の見直しが全国で進んでいる。本市においてもH24年度予算に「津波ハザードマップ」を作成するとしているが、地震・津波とも予想が極めて難しいため、想定外も考えていくことが大切だ。市民一人一人が防災意識を高め、いざというときに、そこに住む住民や通りかかった人も対応できるように、避難場所や電柱、カーブミラーに海岸からの距離と海抜表示をすべき。

**市民生活部長** 早急に1次避難場所の看板や学校、公民館などの2次避難施設の目立つところに標高や海岸からの距離を表示し、市民に津波発生時における避難行動の啓発を行っていきたい。電柱やカーブミラーへの避難誘導表示等についても研究していきたい。

**質問** 新年度の計画もほぼ完了している時期に補助金をいきなりカットするというのでは混乱を招く。施設の統廃合や補助金の見直しについて、関係団体にもう少し配慮すべき。

**市長** 今後、これまでの経緯などの説明を行い進めたい。

永井 徹史 議員

## Q 「白山ろく地域活性化計画」が完成 今後の支援策は

## A 活性化推進本部で事業化・予算化を検討したい

**質問** 私が提唱した「白山ろく地域活性化計画」が市長に報告されたが、所見は。

**市長** 議員同様、今後この計画をよりどころとして白山ろく地域の課題の解消、地域活性化に取り組んでいきたい。

**質問** 私と同じよりどころとしてではなく、執行権のある身として先導的に引っ張ってほしい。

**市長** 白山ブロードウェイ構想を進める中で、新年度には2つの企画を実施したい。以降も10の企画を立ち上げ、連続して実施していくよう検討している。また、観光振興や雇用の場の創出につながるよう、順次進めたい。

**質問** 白山ろく地域活性化計画にある①地域住民への周知・説明②計画推進の行政の連携体制③活性化支援策への見解は。

**企画財政部長** ①ホームページへの掲載、白山ろく地域への概要版の全戸配布や住民説明会も開催したい。②白山ろく地域活性化推進本部で、地域と連携して事業化・予算化を検討したい。③地域の協議会等へ助成事業等の情報提供、人材支援等、積極的に行いたい。

### ジオパーク切手の活用

**質問** 白山手取川ジオパーク切手の活用策は。

**教育部長** 販路拡大等、ジオパーク認知度向上に努めたい。

### 少子化対策への取り組み

**質問** 現在、子育て支援策に重点を置いているが、少子化対策として、婚姻・出生を促す施策にも取り組みを。

**市長** 非常に重要な課題であると認識している。新年度から独身男女の出会いの場の提供事業拡充、少子化に関する講演会開催等のほか、各種施策を推進したい。

**質問** 結婚支援事業について①マナー向上セミナーの開催②地域活性化イベントとの連携③東京事務所を活用した広域連携等、さらなる事業拡充を。

**健康福祉部長** ①セミナー開催とマニュアル策定②計画中のイベントと連携した事業実施③全国の先進事例を情報収集し、事業拡充につなげたい。

寺越 和洋 議員

## Q 企業誘致に対する市長のトップセールスの考え方は

## A 重要な施策の一つ 積極的に取り組む

**質問** 工業団地への立地に関心を示している企業が21社ある。その企業へのトップセールスの現状と、企業進出の可能性は。

**市長** 数社にアプローチを行っている。東京事務所を開設し、都市圏での誘致活動を展開していきたい。

**質問** 市長自ら企業誘致のトップセールスを行っているのか。

**市長** 企業関係者との懇談の折には、積極的に立地条件の良さをPRしている。

白山路サイクルフェスタ

**質問** 企業誘致に対する市長の意気込みと哲学は。

**市長** 重要な施策の一つであり、積極的に取り組む。

### 「白山路サイクルフェスタ2012」の開催

**質問** ジオパークをテーマに、観光情報発信の大会となるような企画は。

**桶屋副市長** 手取キャニオンロードは、ジオポイントが連続するコースで、白山手取川ジオパークを生かした観光情報を発信していきたい。

**質問** 健康福祉部よりも観光部門で企画すべきでは。

**桶屋副市長** 観光推進部の強力なバックアップにより、この事業を推進し、また骨太のイベントとしたい。

**質問** サイクリングルート整備のため、企画会議を。

**桶屋副市長** 会議を立ち上げ、ソフト・ハード両面から事業の推進を検討し、健康増進・観光発信・地元活性化に取り組みたい。

### 作野市長の市政懇談会

**質問** 中学生や若い世代との懇談会を通じて、予算計上したものは何か。新年度の懇談会開催の予定は。また、各地域で市民と意見交換を行った中で、予算に計上したものや、今後検討している施策は。

**市長** 中学校に扇風機を設置する。懇談会は社会人を対象に年2回開催する予定。また、各種団体から市政報告会の依頼があり、できる限り応えていきたい。市民との意見交換による予算計上はないが、いろいろな提言等を参考とし、合併特例債を有効に活用しながら、市民の要望に応えていきたい。

古河 尚訓 議員

## Q 少人数教育の2年生事業廃止なぜ承認したのか

## A 県の35人学級施策にスムーズにつながると判断

**質問** 1、2年生を対象にした少人数教育は、本市を代表する施策として、全国に発信し、市民から高い評価を得てきた。今回2年生を取りやめるほどの積極的な理由は見当たらないが、教育委員会でどのような議論をし、承認したのか。

**教育委員長** 今年度から法改正により、1年生は35人が標準となり、県は3、4年生に対象を拡大した。本市では1年生の30人学級編成は継続し、2年生については32人学級を県と同様の35人学級とした方が、スムーズに3、4年生につなげていけると考えた。

### 震災がれき受け入れ方針

**質問** 心情的に協力すべきと思っていたが、その後、軽々に判断すべきことではないと確信した。本市のがれき受け入れの基本方針は。また、被災地の子どもたちの一時的な避難地とするなど、本市独自の支援を検討すべきではないか。

**市長** 国の責任で国民の不安を払拭できるだけの放射性物質の安全基準や十分な情報提供がなされていない状況であり、慎重な対応を取らざるを得ない。4月から宮城県名取市に派遣する職員を通じて、被災地の方々に喜ばれる支援ニーズを把握し検討したい。

教室もゆとりいっぱい、白山市の少人数教育

### 白山ろく支所の統廃合計画

**質問** 執行部の計画によれば、H28年度から、白峰地域を除く4地域の市民サービスセンターが統合される。行政との距離感ができ、過疎化に一層拍車がかかるのではないか。

**市長** 合併当時には市民サービスセンターという考えはなく、白山ろく総合行政・防災センターという単語もなかった。何もかもなくなるという合併協議会の協定当時から見ると緩和されていると思う。

村本 一則 議員

## Q 「地域づくり交付金制度」の導入を

## A 現時点では難しい

### 支所が統廃合される地域の不安感払拭の方策は

**質問** 地域住民の活力を失わせず、不安感、切り捨て感を払拭するためにも、身近な事業に対して財源と権限を移行する「地域づくり交付金制度」を導入し、協働のまちづくりにつなげては。

**公民館を中心とした形で検討**

**市長** 現在の方法でやっていきたい。公民館が地域の主となる、職員の配置も考えていきたい。

### 巨樹をジオポイントとして観光に活用を

**質問** 石川県の巨樹12本のうち、水を生命の母体として数百年から千年以上生息している巨樹が本市に23本存在している。巨樹の魅力をジオポイントとして認定し、多くの人に見てもらい観光の目玉にしては。

**本市の4本の巨樹は認定している**

**市長** 現在4本の巨樹はジオポイントに認定済みであり、保護を図るとともに、価値や巨樹にまつわる伝承などを多くの人に伝えていきたい。ほかの巨樹も観光資源としての活用を検討したい。

白山市に生息する巨樹
「瀬戸の夜泣きイチョウ」

### その他の質問

**質問** 職員定年延長に対する基本的な考えは。

**北田副市長** 国の動向を注視し、来年度中に勤務条件等も含め方針を固めたい。

**質問** 鬼籍に入る歴代市長と現市長に奉職して、総務部長が感じることは。

**総務部長** 市長職務執行者であった車元鶴来町長は忍耐強く思慮深い人柄、角初代白山市長には政治家として大局と先見を見極める力と度量の大きさを感じた。そして、現在の作野市長は強力なリーダーシップと実行力をお持ちの方である。

清水 芳文 議員

## Q 平成25年度に全市的な防災訓練を

## A 実施できないか検討したい

### 防災対策

**質問** ①住宅用火災警報器の設置拡充策を。②自主防災組織がそろったときに防災協会の設置を。③平成25年度に全市的な防災訓練の開催を。④小中学生を対象とする「防災キャンプ」の取り組みを市内全校で実施できないか。

**市民生活部長** ①町内会、行政、消防が連携して普及促進に努めたい。

**市長** ②自主防災組織が100%結成された地区から順次設置を働きかけたい。③平成25年度に実施できないか検討したい。

**教育長** ④各学校で行われている体験活動に防災教育を加味したプログラムを取り入れる。

防災訓練、関心の高さに多くの参加者

### 新年度予算案

**質問** 過去最高額の予算案だが、市民には分かりにくい。市長の重き思いは。

**市長** 宿泊施設の改修支援事業、ジオパーク推進事業、白山登山推進事業、白山ふるさと文学賞、PET検診助成事業、子育て支援医療給付費の郵送申請、市税のコンビニ収納、インターネット公売など、熱い思いがこもった事業を予算化できた。今後は広報等で周知したい。

### 市の一体感の醸成

**質問** 一体感の醸成に向けた施策、取り組み及び市民からの感触、市民の声の施策への反映については。

**市長** 団体や組織の統合が望ましいと考え、組織の一本化を積極的に働きかけてきた。

### 環境施策

**質問** 自然エネルギーの潜在力あふれる本市で、官民挙げて再生可能エネルギーの開発、普及を。

**市民生活部長** 本市ならではの取り組みを調査、研究したい。

### 地域医療支援事業

**質問** 歯科医師や柔道整復師の出張診療など、過疎対策として白峰地域で行っている地域医療支援事業を白山ろく全域へ拡充しては。

**健康福祉部長** 白山石川医療企業団や医師会等と協議したい。

小川 義昭 議員

## Q 本市独自の老老介護支援策を

## A 介護の負担軽減につながる制度の見直しや充実を図る

### 白山市高齢者福祉計画

**質問** 65歳以上の高齢者人口及び総人口に占める高齢化率と今後の推移は。

**健康福祉部長** 2万3768人、21・1%。現在5人に1人の高齢者が、26年度には4人に1人となり、今後も増加する。

**質問** 高齢者がいる世帯数は。そのうち、世帯構成別の世帯数及び世帯率と今後の推移は。

**健康福祉部長** 高齢者がいる世帯は1万6349世帯、総世帯の41・8%。そのうち、高齢単身は1799世帯11%、高齢者のみは2526世帯15・5%。今後、高い伸び率で推移することが予想される。

### 高齢者の介護問題

**質問** 高齢者の要支援・要介護認定者数、世帯数は。また、数値分析による今後の高齢者問題への考えは。

**健康福祉部長** 3991人、3708世帯。少子高齢社会を迎え、今後一層の増加が見込まれる。このような中、高齢者の要介護者等に対し、地域密着型サービスの充実を図る。

**質問** 介護をする人、介護を受ける人がともに65歳以上の「老老介護」の家庭が増えている。介護者の精神的、経済的負担を減らす施策が必要である。本市独自の取り組みは。

**市長** 1月末時点で老老介護は約220世帯。介護実態に即した制度の見直しや充実を図り、24時間対応型サービスなどを推進し、介護者の負担軽減につながるよう取り組む。

**質問** 一般会計からの介護保険特別会計への繰出金は、新年度予算案では前年度比約1億円増の11億3千万円。今後も増額が予想され、厳しくなる財政事情を考えると介護予防策の充実が必要である。高齢化対策を含めどう考えるか。

**市長** 介護予防推進を重点施策の一つとしている。高齢者の閉じこもりや介護予防等が目的の「地域ふれあいサロン事業」に対する助成制度を創設する。また、地域の支え合いや見守り体制を進め、「地域包括ケアシステム」の推進に努める。

地域ふれあいサロン事業

宮岸 美苗 議員

## Q 小2の少人数学級廃止は市長の提案説明にはないが

## A 多くの変更点があり全部を取り上げるのは不可能だ

**質問** 少人数学級への市教委の評価が変わったのか。

**教育部長** 評価は変わらないが、県施策の35人学級を活用することとし、要望の多い特別支援員や不登校対策相談員等の増員を図った。

### 武道の必修化

**質問** ①柔道の重大事故発生が指摘されているが、習得させる実技の目標は。②安全確保最優先で指導者の配置、設備の総点検を。③柔道着を就学援助の対象に。

**教育長** ①受け身指導を徹底するとともに、細心の注意で指導を行う内容の実技指導計画を作成している。②指導者については、研修講座を受講し研修を積んでいる。また、柔道場の畳の更新など安全面を含め、万全を期したい。③学校からの貸し出しや、柔道着のリサイクルを指示したが、今後学校の意見を聞いた上で、就学援助の対象にするかを検討していきたい。

### 農業振興

**質問** 生産者等が展望を持てる農業の将来ビジョンを市としてつくるべきだ。

**市長** 行政、農業者、JAなどでつくる市地域水田農業ビジョン、県の石川地域ビジョン、新年度より策定の地域農業マスタープランの3つを柱に、生産者が明確な展望を持てる将来的な方向性を示していきたい。

### 森林資源の活用を

**質問** ①新年度予算案に再生可能エネルギー対策の新規事業がなかったが。②設備設置補助の対象に、ペレット・まきストーブを加えてはどうか。ペレットボイラー設置などを誘致企業に働きかけるとともに、公共施設に導入を。③森林資源活用に向け、専門家を入れた検討チームをつくっては。

**市民生活部長** ①固定価格買取制度など国・県の動向を見極めるとともに、費用面や効果を勘案する必要があり、計上しなかった。②本市で木質ペレットは生産されておらず、森林資源の活用にはならない状況だ。ペレットストーブは導入コストが高く補助電源を必要とし、まきストーブは灰の処分や煙の害などが問題となることから設置補助対象には考えていない。誘致企業へはペレットボイラーに限らず、再生可能エネルギーの導入促進を図りたい。

**産業部長** ③かが森林組合、県、森林関係者と連携し森林資源活用を検討したい。

前多 喜良 議員

## Q 各地域の観光資源を生かした物語を

## A 白山ブロードウェイ構想の策定に向け検討

### 点から線・面へとつなぐ物語を

**質問** 昨年の日本ジオパーク認定や白山インター、海側幹線の完成、新幹線の開業など、市にとって千載一遇のチャンスと捉え、8地域にある数多くの観光資源と地域の特性を生かした戦略を地域と共に取り組め。

**市長** 白山感得塾観光戦略会議を設置し、感得プログラムの検討を行っている。感得とは、参加した方々が納得、体得、習得、会得などを感じて、さまざまな得をしていただくということを意味している。秋には第一弾として、祭りをメーンテーマに各地域の伝統・食・文化などを連携させたプログラムを実施する計画である。

### 夢と希望が見える統廃合を

**質問** 「切り捨てばかりで夢や希望が見えない白山市に何の魅力も感じないし、これでは若者が帰りたくても帰れない」との市民の声が多くある。財政が厳しいからと施設の統廃合を訴えながら「野球場の建設か」と市民から非難の声が寄せられている。地域間格差のない、夢と希望が見える施策を。

**市長** 策定中の総合計画後期基本計画をはじめ、2月に策定した白山ろく地域活性化計画や、新しい観光ビジョンの策定に向け、各地域の資源や特色を生かし、希望が持てる施策の展開を地域住民と一体となり取り組んでいきたい。

**質問** 公共施設の統廃合及び管理見直しの方向性は、何を基準として進められたのか。市民は大変戸惑っており、利用率が低くても地域にとっては大切なものがあることを考慮した上での見直しを。

**総務部長** ①廃止・統合、売却・譲渡などの「統廃合・処分」②利用目的の変更や複合化を進める「利用見直し」③建て替え改修や耐震補強などの「機能強化」④現状維持や指定管理など民間手法の導入による「存続」の4つの方向性に整理し、方針を作成した。

注目の金運パワースポット「金劔宮」

# 行財政問題特別委員会

## 支所の在り方、公共施設統廃合の基本方針を検討

平成32年度に約32億円の実質交付税が減額となることや、合併15年後の人件費削減計画が合併当初では約22億円、現状の試算では約8億円と大幅な差異が生じることなどから、支所や公共施設の在り方等について審議しました。

主な意見は次のとおりです。

### 支所の在り方

本庁方式への移行に当たり、本庁の代替機能を確保し、その役割を担う支所等を検討すべきである。また、地域住民や団体等に丁寧な説明を行い、それぞれの意見を聞くべきである。市民サービスセンターへの移行は、新年度から移行可能な支所から実施すべきであり、地域事情に配慮した職員数の検討が必要である。

### 白山ろく総合行政・防災センター

鶴来、白山ろく地域を一つのエリアと捉えた検討もした上で、白山ろくの防災機能を検討すべきである。また、市民サービスセンター統合に際し、市民サービスの維持だけではなく、地域を熟知した職員の配置を行うべきである。あわせて自治に参加する協働の観点から本庁・支所業務の軽減を図り、身近な事業に対する権限と予算を地域に移行するなど、まちづくりの在り方を検討すべきである。

### 公共施設等の在り方

264施設のうち81施設の統廃合や処分を含め、市費負担額約7億円の削減案が示された。その方針に対し、地域事情を十分考慮し、統廃合の施設がある地域には、理解を得ながら進めるべきである。あわせて土地借上料の算定基準を統一し、順次借り上げ用地について賃貸の解消を図るべきである。

### 補助金等の見直し

当初予算から順次反映し、歴史的な経緯や地域事情を十分勘案した中で、交付基準に満たない補助金は廃止し、努力して成果を上げている団体には拡充も必要である。また、自治活動への参加促進を図るため、地域に対し、補助金の一括交付も検討すべきである。

### 歳入の確保

滞納金徴収事務の推進、未利用財産の処分や受益者負担の適正化、ごみの有料化など、今後も協議する必要がある。

当委員会では、支所の在り方等、方向性を示しました。今後は常任委員会での協議が必要になると考えます。

# 公共交通対策特別委員会

## 10年、20年後を見据えた公共交通の在り方と利便性向上

本委員会はこれまでに委員会を10回開催し、コミュニティバス「めぐーる」、路線バス等公共交通機関、松任駅自由通路・駅北広場整備状況の現地調査や、富山市、神奈川県川崎市、千葉県南房総市の先進的な取り組みを視察しました。その中で、将来を見据えたまちづくりでの公共交通の役割を念頭に、市民本位の視点に立った公共交通サービスの維持向上、観光戦略に基づく交通ネットワークの構築及び駅など交通結節点の整備を課題として審議を重ねてきました。

主な意見は次のとおりです。

### コミュニティバス「めぐーる」の乗車率アップ

・利用状況を地域に示し、利用促進に向けて地域が話し合うよう、理解と協力を求めること。

・市内高校への通学時間やJRなど他の交通機関との乗り継ぎに便利な運行時間を設定すること。

・乗車率の多いコースでは1時間間隔の試験運行を行うことにより、ニーズの掌握とより効率的な運行方法を検証すること。

### JR松任駅の利用促進

・ハブ駅を目指して、駅南でのバスベイ整備と路線バスの乗り入れを検討し、事業者と協議すること。

・駅前にアンテナショップなどの観光情報スペースや白山手取川ジオパークのビジターセンターを整備し、交通アクセスと情報発信の拠点とすること。

### その他

・北陸鉄道石川線の存続については沿線自治体と共に、地域住民の足、観光誘客の目玉となるよう、鋭意協議を進めること。

・（仮称）白山駅の整備については財政負担を考慮した中で、北陸新幹線の開業効果を最大限見込めるように協議すること。

利用促進が課題のコミュニティバス「めぐーる」

# 総務企画常任委員会

## 「東日本大震災からの復興増税」市民に周知を

**質問** 東日本大震災の復興財源として、市県民税が増税になるとのことだが、全国一律の増税なのか。

**答え** 緊急に地方公共団体が実施する防災対策の財源を確保するため、平成26年度から35年度の期間、全国一律に均等割1000円が増税となる。施行までに約2年間あり、時期に合わせて市民に周知していきたい。

**意見** 増税の趣旨等について、市民への周知を徹底してほしい。

### 納税組合の減少

**質問** 納税組合が減少傾向にあることについて、市の考えは。

**答え** 個人情報保護の問題や事務が煩雑であることなどから、納税組合は減少傾向にある。全国的にも、納税組合奨励金を廃止している自治体が増えている。解散する組合に対し、口座振替を推奨している。

### 並行在来線への負担

**質問** 第三セクターに対する資本金など、市の負担額は。

**答え** 県の中間報告案によると、資本金20億円のうち、県が70％の14億円、19市町が20％の4億円、民間が10％の2億円を出資する計画となっている。本市の負担額は、500万円程度になると思う。

なお、運行支援金についての具体的な金額や負担割合などは提示されていない。

並行在来線、どうなる市の負担

### 東京事務所の設置

**質問** 東京事務所に派遣する職員の主な業務内容は。

**答え** （財）都市農山漁村交流活性化機構内に設置し、所長として1名派遣する。業務は企業誘致、大学のスポーツ合宿の誘致、北陸新幹線金沢開業及び日本ジオパーク認定に伴う誘客・観光PR等渉外業務が主である。また、都内での市長随行業務、会議の代理出席等や機構の業務も行う。

# 文教福祉常任委員会

## ジオパークの拠点施設整備を

**質問** 情報発信拠点施設の具体的な場所、整備内容、県の協力について聞きたい。

**答え** 「道の駅しらやまさん」を拠点施設に、現在の展示スペースを利用して情報発信していきたい。県から新年度予算の100万円以外に、手取峡谷の見学地点整備の協力を得ている。引き続き県に協力を求めていく。

**質問** 松任駅前への拠点施設整備とPR方法について聞きたい。

**答え** 松任駅前や公共施設にサテライトをつくるほか、駅構内に整備予定の観光情報コーナーでも情報発信を考えている。のぼり、ステッカー、缶バッジ等で広報啓発していきたい。

**質問** 他市町との連携や環白山事業とタイアップして広く知らせる取り組みを進めてほしい。

**答え** 環白山地域や勝山市と連携して取り組んでいきたい。世界認定のためには教育的な活用も重要であり、公民館や学校でのジオパーク学習を引き続き進めていきたい。

**意見** 新年度開設の東京事務所からの発信など、全国に向けた取り組みを進めてほしい。

### 高齢者入浴施設利用料の見直し

**質問** 75歳以上は無料にするなどの措置を取ってはどうか。

**答え** 事業の対象年齢は75歳以上だが、市民温泉のうち、松任海浜温泉は100円の負担、白山ろく地域の施設は無料であることから一律100円に統一した。この事業以外に65歳以上対象のふれあい入浴事業があるが、同様の事業で他自治体が一部負担を導入しており、本市も一律100円の負担で統一したい。

### 鳥越大日スポーツ施設

**質問** グリーンシーズンの活動やロッジの管理、リフトの運行について聞きたい。

**答え** ウオーキング事業のほか、駐車場を利用したジムカーナ（モータースポーツ競技）や山野草の観察などを計画している。ロッジの管理はNPO法人に依頼する。索道は夏季利用の許可を受けておらずリフトは動かせない。

拠点施設となる「道の駅しらやまさん」

# 生活経済常任委員会

## し尿処理施設統合の検討を

**質問** 松任衛生センターは、し尿処理能力に余裕があるため、手取川流域環境衛生事業組合衛生センターと統合できないか。

**答え** 設立の経緯等があるため、今後、構成団体の各市町と協議していく。

**質問** 松任・手取郷・白山郷斎場は、それぞれ市や組合の管理となっているが、窓口を一本化できないか。

**答え** 各施設の構成市町が違うため、管理の一本化は難しい。

**意見** 一部事務組合設立の経緯はあると思うが、組合から抜けた場合の維持管理費を含めた応分の負担などを前向きに議論していくことが、行財政改革である。

白山市農林水産物ブランド「白山ねぎ」

### 手取川ダムは安全なのか

**質問** 手取川ダムは頑丈で絶対壊れないと言うが、万一ダムが決壊し、手取川が氾濫したときの水害マップは必要ではないか。

**答え** 手取川が氾濫したとき、どういう浸水になるかの目安は洪水ハザードマップで確認できる。しかし、ダムにかかわるマップがないため、今後ダム管理者である国に対して、どのように考えているのかを確認し、要望を行っていきたい。

**意見** 安全に対する強い気構えを持ち、国土交通省に対し、決壊のシミュレーションなど、県を通して要望すべきである。

### 地産地消の取り組み支援を

**質問** 生産振興作物としてネギの取り組みに対し補助しているが、JA松任、JA白山は「白山ねぎ」の生産に共同で取り組むのか。

**答え** 両JAが協力して取り組み、それぞれのJAからブランド認証の申請が提出される予定である。（3月21日認証）

**意見** 地産地消を進めるため、市としても協力に努めよ。

# 建設企業常任委員会

## 松任駅南広場のモニュメント整備は

**質問** 松任駅南広場モニュメント整備では、具体的に何を設置するのか。また、維持管理費はかからないのか。

**答え** 松任駅自由通路の昇降口付近にシンボル的なモニュメントを設置したい。なお、維持管理費は発生しない。

### 眺望点視点場の整備

**質問** 眺※望点視点場整備事業とジオパークビューポイント整備事業の事業名は、市民に分かりやすい名称に統一できないのか。

**答え** 新年度に計画を進める中で、分かりやすい名称に統一していきたい。

**質問** 3カ年で13カ所整備するとのことだが、十分な安全配慮を行うために、必要があれば補正対応も考えているのか。

**答え** 整備予定地は安全な場所を選定、計画し、白山や手取川、日本海等が見えるポイントで整備する予定である。場所によっては、安全柵等の設置も必要だが、予算の枠内で整備したい。

※**眺望点視点場整備事業**
白山手取川ジオパーク事業と連携し、市内の魅力的な眺望点の視点場を整備する事業

### 緑と花の啓発・推進事業

**質問** 緑と花の啓発・推進事業では、花苗を市内で購入しているのか。

**答え** 松任地域は地元の花苗生産農家から購入しているが、鶴来、白山ろく地域は一部市外から購入している。今後も地産地消の観点から、できる限り市内で購入するよう調整していきたい。

視点場整備で白山を一望（呉竹文庫周辺から）

# 市民の声

「市議会に期待すること」をテーマに
地域のみなさんからご意見をいただきました

## 議会改革の早急な実行を

笹野　守さん（千代野東五丁目）

豊かな自然に恵まれ、文化の香りも高い県内有数の住みよい白山市であるが、解決すべき課題も多い。

第一に、市民サービスを向上しつつ、あらゆる面での合理化・簡素化・効率化により、コスト削減を図り、健全財政を実現しなければならない。その一環として、市議会改革の早急な実行を望みたい。

次に、総合的危機管理体制の充実が急務である。「自分の安全は自分で守る」が防災の基本であるが、高齢化社会においては、自助努力のみでは対応できないことも多い。安全・安心な街づくりとともに、大地震等に対する平素からの心構え、避難生活への具体的準備あるいは非常時のあるべき行動規範等に関する一層の情報提供を求めたい。大地震体験者から「避難所に全員は入れない、救援物資の到着に時間がかかる」とも聞く。災害発生時の万全な救援活動体制の確立をお願いしたい。

最後に議員諸氏は、市民の代表として、長期的ビジョンと確固たる信念の下、住民の要望や意見に耳を十分傾けていただきたい。そして、議員間でも議論を尽くし、行政と共に市政のかじを取る車の両輪として、重責を果たされることを期待する。

## 白山ろくへの想い

江淵 美代子さん（白峰）

白峰に生まれ育ち、高校進学から金沢で生活するようになり、出産を機に、子どもを白峰で育てたくて、家族と共に帰ってきました。現在、成人した子どもたちは、白峰で子ども時代を過ごすことができて良かったと話してくれています。全国的な傾向ですが、白峰も若者が少なくなり急激に高齢化し、将来この地域が消滅して故郷が無くなるのではないかと大きな不安を持っています。

もうすぐ、北陸新幹線が開業します。そこで、名峰白山をはじめとし、白山ろくにも古くからの食・歴史・文化等、全国の方々に訪れていただきたい観光資源が多くあると確信しています。

議員定数削減で、人口の少ない白山ろくに地域の代表がいなくなり、地域の声が議会に届かなくなるのではないかとの不安があります。現状でも、白山ろく地域が切り捨てられそうな状況で、大変悲しく、寂しく、不安でいっぱいです。他の地域から選出された議員の方々にも、ジオパークの源である白山ろくに足繁く視察をお願いし、観光を中心とした若者の職場を考えていただきたいと思います。

私たちが愛し、暮らす白山ろくへの温かい政策に取り組まれるようお願いいたします。

## 編集後記

6月定例会で任期が終了となるため、この委員会での編集は今号が最後となりました。これまで、読者である市民の皆さまの顔を思い浮かべながら、大切なことは「伝える」ということを価値基準に編集してまいりました。今後とも、皆さまのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

なお、議会組織の改編により、今号から本屋彌壽夫議員に代わり、寺越和洋議員が編集委員に加わりました。

（編集委員一同）

**■編集委員会**

委員長：北嶋 章光　副委員長：石地 宜一
委　員：古河 尚訓、岡本 克行、寺越 和洋、北村　登

## フォトメッセージ

表紙写真：中井 正宏さん

撮影地の大嵐山は、風変わりなブナの木が多く、見て楽しく、また森林浴も楽しめる散策コースがたくさんあるので、軽い登山気分が味わえます。

写真は、春のブナ林を散策していたときに、霧中に見えた古木です。撮影しながら歩いていると、いろいろな風景や動植物に遭えるので楽しいです。

自然を相手に撮影するのは、とても難しいですが、好きなことはやめられない。下手なりに長く続けていこうと思っています。

発行日／平成 24 年 5 月 1 日　発行／白山市議会　編集／議会だより編集委員会　事務局／白山市議会事務局議事調査課
〒924-8688　石川県白山市倉光二丁目 1 番地　TEL：076(274)9580　FAX：076(274)8510
E-mail：gikai@city.hakusan.lg.jp　ホームページ：http://www.city.hakusan.ishikawa.jp